半年以上の勤續者には 公休制を設けて 失業防止 神戸タンロップ職工解雇

財界不況の暗影益々濃厚ならんとする折柄神戸護謨會社に於いて此の程一部護謨職工の解雇沙汰が起つた由來同社は財界好況時代職工二千餘名を使役し關西

第一流 の護謨工場であつたが、客春來護謨業は極度の不振に陥りたる結果以來數回に亘りて職工及社員を自然淘汰事故淘汰の美名の下に密に馘首を行ひて、業務縮小を試みた處其の後斯業は日を逐うて不況に陥るのみなるを以て此の程更に冗員の整理を行ふことに決し護謨部職工約四十餘を解雇した、但し六ケ月以上の勤續する者に對しては全然失業せしむるを忍びずこゝに

公休制 を設け各冗員を一週間交代にて公休せしめ公休期間は日給の半額を支給する事に決定したが、右に對し同社田村支配人は語る

護謨部職工を一部解雇したことは事實です、然し此れは極めて少數で當社としては出來得る限り失業の傳へらるゝ程大袈裟でない 豊橋兎場の一重役語る

豊橋兎場護謨株式會社從業員の解雇問題に就き一重役は語る、今回解雇したのは主として夫婦共稼ぎの折柄の事に鑑み會社の取つた措置は正當であつて決して解雇職工側の訴へる樣な不當のものではない」

解雇者は臨時雇ばかり

十日間位の給料を與へてあるから一週間乃至一ケ月位しか在勤しない人々の計りで永年の勤續者ではない

藤永田造船工 賃金値上要求

藤永田造船所職工側では昨年來より問題着中である藤永田分工場の職工及び社員を自然淘汰の美名の下に密に馘首を行ひて、業務縮小を試みた處其の後斯業は日を逐うて不況に陥るのみなるを以て此の程更に冗員の整理を行ふことに決し護謨部職工約四十餘を解雇した、但し六ケ月以上の勤續する者に對しては全然失業せしむるを忍びずこゝに

公休制 を設け各冗員を一週間交代にて公休せしめ公休期間は日給の半額を支給する事に決定したが、右に對し同社田村支配人は語る

護謨部職工を一部解雇したことは事實です、然し此れは極めて少數で當社としては出來得る限り失業の傳へらるゝ程大袈裟でない 豊橋兎場の一重役語る

豊橋兎場護謨株式會社從業員の解雇問題に就き一重役は語る、今回解雇したのは主として夫婦共稼ぎの折柄の事に鑑み會社の取つた措置は正當であつて決して解雇職工側の訴へる樣な不當のものではない」

深夜業の廃止で 賃金を引下たら 騒ぎ起させる

勞働同盟の書策こ紡績界

華盛頓に開會した國際勞働會議の決議は樞密院に於て之を批准するに於ては來る七月一日から實施しなければならない樞密院は其の實施の結果産業組織の上に大影響を與ひ尚ほ貿易上にも甚大の打撃を與ひるこ云ふので審議中なる名の下に握り潰しにしようこ考へてゐる樣であるし閣議では故原首相の意志を尊重して是又反對する者があるから實施されるかごうかは問題であるが、併し現下の

紡績界の 狀況は內外共に需要大いに減退し殊に金融上の壓迫も加はり居るので各紡績の六先物綿絲の賣約をなせる向も極めて少く原綿採算を無視して絲價は低落して居るため自然的に各社は繰業を短縮して居る從つて生産高も四月中は五千俵の減少を告げてゐるので紡績業者中には華府條約に基きベルン條約加盟の實現を期すべく何れも私かに七月一日から深夜業の廢止を實施すべき心算でゐる會社もある之に對し關西勞働聯合會の一幹部は語る。

「深夜業廢止の噂は此前の幹部會の席上で誰かゞ話し出してそれから問題になつて居るが言ふまでもなく當然廢止して了ふべきものである。併し深夜業を廢止するからそれ丈

女工の數

は約一萬あるが女工は無自覺で困る。藤クンなぞは溫情主義——こ言ふが何が溫情だれは一番の嚙着主義なのであるが女工達はまるで有難いものゝやうに思ふて居る。溫情主義こ言ふものは牢屋のやうな工場へ閉ぢこめて置いてしようもない生花や裁縫を敎へるこゝではない。それを女工達は有難がつて居るから困る、これまで自分達は何度も〳〵

女工連盟

を作りにかかつては馬鹿を見て居たが今度深夜業廢止に就いては前の通りの賃金で廢止するなら許してをくが賃金でも安くする考へなら許して置けぬゝ機會だから一騒ぎ起こさせる考へである此の頃の不景氣は女工達もほつ〳〵溫情主義つてこんなものかこ覺りかけて來て居るから頓母敷いこ思つて居る」云々

手當要求を決議

會社側が辭表提出を欺かしたが 社員側は却て反對に

一時に千八十餘の職工を一度に解雇手當として一週間乃至一ケ月位の給料を與へてあるから一時に千八十餘の職工を一度に解雇手當として一週間乃至一ケ月位の給料を與へてあるから

レコード爭ひ

日蓄會社の要求に 商の憤慨

組合員結束して起つ

日本蓄音器株式會社は所謂米國同時に組合切り崩し策に出で西的レコード製造所を買收し陣容を整へるこ同時に全國の取扱小賣店に對して日蓄以外の品を賣買するを禁じ自然の壓迫たらんこゝを要求すべく宣言書を作りて四月下旬各店へ配布せんとしたが大阪方面では日蓄製品をも販賣して漸く收支償うてるたのに拘らず此の儘にして置けば收益も減少し商賣さしても不合理な譯であるから反對して一旦思ひ止まらせようこ同業者は本月九日大紙倶樂部で第二回臨時總會を開き會社の反省を促す決議を爲したが會社側は之を肯んぜず六月一日以

四軒を 說き落したの

以外の

製品をも販賣

日本蓄音器株式會社へ最後としての反省を促し之を拒絶するこきは同會社に對し全然取引せず更に此の旨を同會社に通告するこゝ

同業組合では殘る百十數軒の賣具に檄を飛ばし警戒するこ同時に十七日左の決議をして會員の結束を圖つた